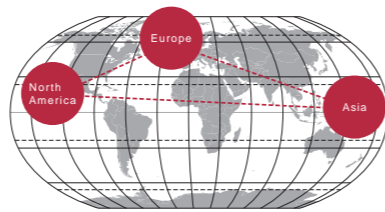


日立グループの事業ノウハウ&IT。 日本で、そして世界で活かすために生まれた、 コンサルティングファーム。

日本を代表する世界的な企業ブランド、“HITACHI”。様々な事業を手掛け、実に100年近い歴史を誇る企業です。この日立グループが現在進めている戦略が、ユビキタス情報社会ならではの革新的価値を創出する“uVALUE”です。具体的には、日立がこれまで行ってきた事業で得たノウハウと日立グループのITを融合し、顧客のビジネスに対して高い価値を創造するというもの。そのuVALUEに寄せられるプロジェクトのコンサルティングフェーズを一手に引き受けるために誕生したのが、私たち日立コンサルティング（以下HC）なのです。現在、従業員は60名（2006年4月現在）。グローバルでビジネスを展開している日立グループからの案件に、とても対応できる規模ではありません。しかし、HCはもちろん、日立グループも世界中のプロジェクトに対応できる規模のコンサルティングファームへと拡大させることに本気です。HCがメインで担当する地域は日本を含むアジア地域。日立グループのビジネス戦略において重要地域である北米にはHitachi Consulting Corporation（以下、HCC）を。そしてもうひとつの重要地域である欧州にはHCCの別部隊を展開。HCに先駆け、双方ともすでに拡大をはじめています。アジア、北米、欧州の三つの拠点の関係を強化し、グローバルな事業展開を実現していくのです。HCは、2008年までに国内だけで1000名規模へ拡大する予定。コンサルタント経験者はもちろん、事業会社で経営の経験をお持ちの方やコンサルタントとしての資質やマインドをお持ちの方などをお迎えしたいと考えています。



代表取締役社長兼CEO ポール与那嶺が語る日立コンサルティングのキャリアセミナー



日時 7/22(土)13:00開場13:30~start

会場 キャリアデザインセンターセミナールーム

住所 〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-20 赤坂ロングビーチビル

【エントリー】求人情報検索サイト『@type』よりエントリーしてください
<http://type.jp>



代表取締役社長兼CEO ポール与那嶺 サンフランシスコ大学卒業後KPMGビートマーウィックに入社。KPMGコンサルティング株式会社（現ペリンクポイント株式会社）日本法人会長や上席副社長兼アジア太平洋地域総責任者として、アジア太平洋地域事業の立ち上げに貢献した。06年4月、株式会社日立製作所 代表取締役 執行役社長長古川一夫氏から呼ばれ、株式会社日立コンサルティング代表取締役社長兼CEOに就任。詳細な経歴については『@type（<http://type.jp>）』をご覧ください。

Strategy/Change/企業再生 コンサルタント 仕事内容 クライアントの経営レベル・現場レベルと一緒に経営課題を抽出し、具体的な解決シナリオを描き、具体的な数字レベルで変革を実現する。応募資格 大卒以上、英語力尚可。職種を問わず2年以上の上記コンサルティング経験者、ほか

上記職種の他にも多職種募集。詳細は@type(<http://type.jp>)をご覧ください。 **業務コンサルタント** **ITコンサルタント** **Industry コンサルタント** **InformationIntegration/Outsource/SharedService コンサルタント**

【募集要項】 募集職種・仕事内容・応募資格 上記参照 給与 完全年俸制（賞与を含む前年収を考慮の上、優遇）年俸改定年1回/4月 勤務地 東京本社（東京都港区）全国各地・海外（プロジェクトによる）勤務時間 裁量労働制（標準労働時間0:50～17:35）休日休暇 完全週休2日制（土日）、祝祭日、年末年始休暇（12/31～1/3）、有給休暇年間24日（入社日による）特別休暇、慶弔休暇、傷病休暇、出産休暇、育児・介護休暇等 待遇 社会保険完備、教育費（年間24万円まで支給）

【会社概要】 事業内容 当社は日立製作所100%出資のコンサルティングファームです。現在設立4年目を迎え成長の速度を増しています。日立グループはもちろん、様々な企業とのネットワークを構築しトップマネジメントに特化したコンサルティングを行っている私たちは、日立グループ1200社に蓄積されたあらゆる業種業態におけるノウハウを強みに、あくまで中立的な立場で、グループ内外の企業の経営課題に取り組みます 設立 2002年7月1日 資本金 4億円 代表者 代表取締役CEO ポール与那嶺（よなみね） 従業員数 60名（2006年4月現在） 売上高 非公開

【応募方法】 求人情報検索サイト『@type（<http://type.jp>）』から当社名を検索し、必要事項をご記入の上送信し、ご応募ください。もしくは履歴書（写貼）・職務経歴書（書式自由）を郵送かE-mail（recruit.type@hitachiconsulting.co.jp）にてお送りいただく、当社HP（<http://hitachiconsulting.co.jp/>）のリクルーティングページからご応募ください。



日立のポテンシャルは、 世界に通用するか。

日立グループ約100年の事業ノウハウを活かす、コンサルティングファーム誕生。

明治43年の創業から96年。約一世紀もの歴史を持つ日立グループ。家電や自動車機器、電力や原子力、そして情報通信など。実に数多くの事業を展開しています。これらの事業で培われたノウハウや技術。知恵、アイデアなどは、いわば日立のポテンシャルと言えるでしょう。このポテンシャルを最大限に活かすことを目的に生まれたのが、私たち日立コンサルティングです。日立グループでは現在、100年近い歴史の中で培われてきた事業ノウハウを活かして独自のユビキタス情報社会の構築に全力を注いでいます。私たちはその実現を担うためのコンサルティング部隊。言い換えれば日立グループが持つ、事業ノウハウと情報通信の融合を進めているのです。そしてこれが世間にも与える影響は、あなたの想像以上に大きいでしょう。世界的なブランドである“HITACHI”。私たちのフィロソフィは世界規模。さらにモノづくりやITはもちろん、物流、金融など実に多くの業界で日立グループのポテンシャルは活きるはず。まだ日立グループを率いるグローバルコンサルティングファームは誕生したばかりです。これから日立グループに変革を与え、世界規模のビジネスを展開していきます。

代表取締役社長兼CEO ポール与那嶺が語る日立コンサルティングのキャリアセミナー

HCIは、30万人を擁する日立グループを牽引するコンサルティングファームを目指し、積極採用を行っています。当面の目標は2008年までに国内1000名、海外3000名規模に成長させること。前身であるエクサージュがこれまで築き上げてきた人材・実績を土台に新たな人材が加わることで、グローバルコンサルティングファームを実現させるのです。セミナーでは当社のミッションや、今後のビジネスの方向性、当社で歩めるキャリアパスなどをポール与那嶺自らが話させていただきます。是非、奮ってご参加ください。

日時 7/22(土) 3:00開場 13:30~start

会場 キャリアデザインセンターセミナールーム

住所 〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-20 赤坂ロングビーチビル

【エントリー】求人情報検索サイト『@type』よりエントリーしてください。

<http://type.jp>

代表取締役社長 兼 CEO ポール与那嶺 サンフランシスコ大学卒業後KPMGビートマーウィックに入社。KPMGコンサルティング株式会社（現ペリಂಗポイント株式会社）日本法人会長や上席副社長兼アジア太平洋地区総責任者として、アジア太平洋地域事業の立ち上げに貢献した。06年4月、株式会社日立製作所 代表執行役 執行役社長古川一夫氏から呼ばれ、株式会社日立コンサルティング代表取締役社長兼CEOに就任。 詳細な経歴については『@type (http://type.jp)』をご覧ください。

募集職種	仕事内容	応募資格
Strategy/Change コンサルタント	クライアントの経営レベル・現場レベルと一緒に経営課題を抽出し、具体的な解決シナリオを描き、具体的な数字レベルで変革を実現する。	・職種を問わず2年以上の左記コンサルティング経験者、ほか
業務コンサルタント	CRM/PLM/SCM/FPM/HRM/HCMの各領域における業務改革を実現するため、構想策定、業務設計～定着化や、システム設計～導入までの支援	・左記領域での業務/組織/人事制度改革経験者、ほか
ITコンサルタント	システム化戦略立案、IT部門の変革、ITガバナンスなどIT部門を中心とした企業変革の支援	・EAI/SOAなどのシステム統合における技術レベルでの経験者 ・システム設計～開発の4年以上の経験者、ほか
Industry コンサルタント	産業流通分野、公共分野、金融/サービス分野などの主要インダストリーにおけるリーダーとして、様々な変革機会において業界をリードする。	・企業内における左記領域での業務経験者 ・左記領域での業務改革プロジェクト経験者、ほか
Outsource/Shared Service コンサルタント	業務改革実現のためのOutsource/Shared Service戦略の立案・効果創出、実現ユニットの設計～導入、ユニット内業務プロセスなどの設計～導入などの支援	・左記領域での業務改革プロジェクト経験者 ・企業内における左記各領域の業務経験者、ほか
Information Integration コンサルタント	Business Intelligence、Portal、Searchなど、情報管理の新しい技術を駆使したコンサルティング業務	・左記技術での業務改革プロジェクト経験者 ・企業内における左記技術の活用経験者、ほか

【募集要項】募集職種 上記表参照 仕事内容 上記表参照 応募資格 共通：大卒以上、英語力尚可、ほかは上記表参照 給与 完全年俸制（賞を含む前年収を考慮の上、優遇）年俸改定年1回/4月 勤務地 東京本社（東京都港区）全国各地・海外（プロジェクトによる） 勤務時間 裁量労働制（標準労働時間8:50～17:35） 休日休暇 完全週休2日制（土日） 祝祭日、年末年始休暇（12/31～1/3） 有給休暇年間24日（入社による） 特別休暇、慶弔休暇、傷病休暇、出産休暇、育児・介護休暇等 待遇 厚生年金、健康保険、雇用保険、労災保険、教育費（年間24万円まで支給）

【会社概要】事業内容 当社は日立製作所100%出資のコンサルティングファームです。現在設立4年目を迎え成長の速度を増しています。日立グループはもちろん、様々な企業とのネットワークを構築しトップマネジメントに特化したコンサルティングを行っている私たちは、日立グループ1200社に蓄積されたあらゆる業種業態におけるノウハウを強みに、あくまで中立的な立場で、グループ内外の企業の経営課題に取り組みます 設立 2002年7月1日 資本金 4億円 代表者 代表取締役社長 兼 CEO ポール与那嶺（よなみね） 従業員数 60名（2006年4月現在） 売上高 非公開

【応募方法】求人情報検索サイト『@type』から当社名を検索し、必要事項をご記入の上送信し、ご応募ください（http://type.jp）。もしくは履歴書(写貼)・職務経歴書（書式自由 宛郵送か E-mail(recruit.type@hitachiconsulting.co.jp)にてお送りいただく、当社HP (http://hitachiconsulting.co.jp/) のリクルーティングページからご応募ください。



株式会社 日立コンサルティング (旧社名：株式会社エクサージュ)

address 〒106-6007 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー7階 TEL 03-5575-2323 (平日、9:00～17:30)
MAIL recruit.type@hitachiconsulting.co.jp URL http://hitachiconsulting.co.jp/

日立グループ100年の歴史

【明治43年】 久原鉱業所日立鉱山付属の修理工場として発足。創業、開産初の5馬力誘導電動機を完成。【明治44年】 2kVA変圧器を完成。【大正03年】 交流電流計・電圧計の製作を開始。【大正05年】 10,000馬力水車を完成。扇風機の製作を開始。【大正09年】 日立・亀戸の両工場を擁し、株式会社日立製作所として独立。【大正10年】 日本汽船株式会社より笠戸造船所を譲渡。笠戸工場増設。【大正13年】 ED15形電気機関車を完成（大型の国産第1号）【昭和05年】 柱上変圧器の製作を開始。【昭和06年】 10,000kVA水電解槽を完成。【昭和07年】 エレベーターの製作を開始。電気冷蔵庫の第1号を完成。【昭和08年】 23,600馬力イグナセットを完成。【昭和12年】 国産工業株式会社を吸収合併。戸塚工場など工場増設。【昭和14年】 多量工場新設。日立工場より日立研究所独立。【昭和15年】 水戸工場新設。5,000回線私設自動交換機を完成。【昭和17年】 中央研究所新設。【昭和18年】 理研真空工業株式会社を吸収合併。茂原工場増設。85,000kWフランス式水車、70,000kVA交流発電機を完成。【昭和19年】 亀戸工場より清水工場独立。多量工場より新木工場独立。【昭和24年】 U05(ワーシヨベル車)1号機を完成。【昭和26年】 6,500kWカプラン水車・7,000kVA交流発電機を完成（開産初の発形発電機）【昭和27年】 21,000kW2段タービンポンプを完成。【昭和28年】 最低圧式300m3/h空気分離装置を完成。55,000kW水素冷却式タービン完成。【昭和29年】 大型ストリップミル国産第1号機を完成。【昭和30年】 10万kWフランス式水車、93,000kVA交流発電機を完成。【昭和31年】 日立金業工業株式会社（現 日立金業株式会社）日立電機株式会社分離独立。DF90形ディーゼル電気機関車を完成（国産初）。【昭和32年】 日立工場より厚田工場独立。【昭和33年】 6石トランジスタ超小型ポータブルラジオを完成。ブリュッセル万博でHS-6面電子顕微鏡・HM-3型電子顕微鏡がグランプリを受賞。【昭和34年】 横浜工場新設 トランジスタ研究所を武蔵工場と改称 HITAC301電子計算機（トランジスタ使用）を完成。【昭和35年】 キュービックタイプ冷蔵庫を開発。【昭和36年】 多量工場より那珂工場独立。【昭和37年】 神奈川工場新設。発熱自壊性鉄鋼を開発。【昭和38年】 亀戸工場より習志野工場独立。日立化成工業株式会社分離独立。【昭和40年】 HITAC5020システムを完成。希土類蛍光灯使用19型90度偏向カラーブラウン管を完成。【昭和41年】 機械研究所新設。シリコントランジスタのLTP処理法を開発。【昭和42年】 ドライタイプ計算機エムエーコンを開発。【昭和43年】 多量工場より佐和工場独立。横浜工場より東海工場独立。神奈川工場より小田原工場独立。超高速遠隔ハイブリッドLSIを開発。制御用電子計算機HIDIC100を完成。300m/min超高層ビル用エレベーターを完成。【昭和44年】 ソフトウェア工場新設。青楓工場新設。大みか工場新設。日立建設機械製造株式会社（現日立建機株式会社）分離独立。銀行オンラインシステムを完成。オールトランジスタカラーテレビを開発・量産化。Lo-D2ウェルビーアークシステムを開発。【昭和45年】 高崎工場新設。新幹線運転管理システム（COMTRAC）を開発。【昭和46年】 日立電子株式会社より旭工場を譲渡。生産技術研究所新設。大容量（1G/バイト）ファイル記憶装置を完成。【昭和48年】 システム開発研究所新設。新型画像管サチコンを開発。【昭和49年】 土浦工場新設。亀戸工場を移転し、中京工場と改称。無収差凹面回折格子用数値制御ルーリಂಗエンジンを開発。47万kW国産第1号原子力発電設備を完成。半導体組立の自動化（LSI・トランジスタのワイヤボンディングの自動化）を実現。【昭和50年】 高性能伝熱面（サーモエクスセル）を開発。日立新型圧延機HC-MILLを開発。Mシリーズ大型コンピュータシステムを完成。【昭和51年】 世界初の光通信システム実証試験に成功。【昭和52年】 高速アミノ酸分析計(837型)を開発。新型転換炉原型炉「ふげん」の建設を完成。【昭和53年】 高分解能電界放射型電子顕微鏡/分解能世界記録を開発。固体画像電子小型カラーカメラの試作を完成。【昭和54年】 HITAC Mシリーズ200Hを完成。【昭和55年】 北海道・本州間電力連系用300MW交直変換設備の完成。【昭和57年】 電子線ホログラフィーによるミクロ領域の磁場観察を世界で初めて実現。【昭和58年】 スカロール圧縮機搭載空調機の開発。【昭和59年】 改良標準型BWR国産第1号機の完成。256kビットDRAMの量産化。【昭和60年】 基礎研究所新設。臨界プラズマ試験装置JT-60の完成。超高精細カラー表示CAD/CAEシステムの開発。【昭和61年】 HITAC M-68Xシリーズの完成。【昭和62年】 予見ファジィ制御の実用化。カラー液晶投射式大型ディスプレイ装置の完成。【昭和63年】 4脚動歩行ロボットの開発。【平成01年】 世界最高速の超電導コンピュータの開発。超電導MRイメージング装置の開発。【平成02年】 超大容量汎用コンピュータ「HITAC M-880プロセッサグループ」の開発。高精細TFTカラー液晶ディスプレイの開発。【平成03年】 佐和工場を自動車機器事業部に統合。開田工場を炭素材事業部に統合、戸塚工場を情報通信システム事業部に統合。那珂工場を計測器事業部に統合。世界最大容量（狭軌道）インバータ式電気機関車の開発。アパランシェ増倍型撮像管「ハービコン」の開発。【平成04年】 横浜工場及び東海工場をAV機器事業部に統合。家電機器、コンピュータ及び電子デバイス担当部門の組織を工場単位から事業部単位へ変更。基幹系500kV変電所システムの完成。行走トランシエントを用いた原子操作・原子列状態観察基本技術の開発。【平成05年】 半導体設計開発センタ、武蔵工場及び高崎工場を半導体事業部に統合。清水工場を空調システム事業部に統合、中京工場及び習志野工場を産業機器事業部に統合。高速新幹線電車300系の開発。単一電子メモリの室温動作に世界で初めて成功。キャピラリーレイドDNAシーケンサーを開発。【平成06年】 家電事業本部及び情報映像メディア事業部を統合して家電・情報メディア事業本部と改称。日立オリジナル32ビットRISC SHマイコンシリーズの開発。クリーンATMの開発。1GビットDRAMの試作に成功。【平成07年】 電力・電機、家電・情報メディア、情報及び電子部品事業を事業グループとして編成し、併せて研究開発部門の一部と営業部門を事業グループに統合。株式会社日立家電を吸収合併。超広視野角スーパーTFT液晶ディスプレイを開発。10Gビット/s光通信装置の開発。暗号アルゴリズム「MULTI2」の開発。【平成09年】 4.7G/バイトDVD-RAM基本技術の開発。心臓疾患検査用心磁計測技術の開発。ガン治療用小型陽子線加速器の開発。【平成10年】 情報グループと家電・情報メディアグループを情報グループ、情報メディアグループ及び家電グループに再編成。320Gビット/s光波長多重伝送システムの開発。PAM制御方式冷蔵庫・エアコンの開発。【平成11年】 事業グループを再編成し、それぞれを実質的独立会社として運営する経営体制に変更。ライフサイエンス推進事業部新設。リチウム二次電池をマンガン系で実用化。【平成12年】 i.e.ネットサービスグループ新設。Net-PDAベンチャーカンパニー新設。約6.45cm2（1インチ平方）当たり52.5Gビットの垂直磁気記録方式の開発。分解能49.8ピコメートルのホログラフィー電子顕微鏡の開発。【平成13年】 金融・流通システムグループ、産業システムグループ、公共システムグループ、通信・社会システムグループ及び情報コンピュータグループをシステムソリューショングループ及び情報・通信プラットフォームグループに再編成。ミュージアムベンチャーカンパニー新設。計測器グループ及び半導体製造装置グループを会社分離。株式会社日立ハイテクソリューションズ（旧 日製産業株式会社）を承継会社として再編成。モバイルWebゲートウェイシステムの開発。携帯電話向けアプリケーションプロセッサ「SH-Mobile」の開発。情報・通信プラットフォームグループを情報・通信グループ統括本部に統合。【平成14年】 情報・通信グループ統括本部、システムソリューショングループ、デジタルメディアグループ、i.e.ネットサービスグループ及びNet-PDAベンチャーカンパニーを情報事業統括本部、情報・通信グループ及びユビキタスプラットフォームグループに再編成。産業機器グループを会社分離。株式会社日立産機システムとして再編成。家電グループを会社分離。日立ホーム・アンド・ライフ・ソリューション株式会社として再編成。パーソナル・ヘルスケアベンチャーカンパニー新設。ディスプレイグループを会社分離。株式会社日立ディスプレイズとして再編成。株式会社ユニシアエックスを株式交換により完全子会社化。世界最小0.3ミリ角の非接触チップを開発。小型駆動力多量制御装置を開発。米田BM社からハードディスクドライブ事業を前年12月に買収し、株式会社日立グローバルストレージテクノロジーズを設立。半導体グループを会社分離。株式会社ルネサステクノロジとして再編成。【平成15年】 ハードディスクドライブ事業を会社分離。株式会社日立グローバルストレージテクノロジーズを承継会社として再編成。「株式会社」の監査等に関する商法の特例に関する法律」第2章第4節に規定する特例を受ける委員会等設置会社に移行。小型・高速・高精度の指輪型顕微鏡技術の開発、製品化。光トログラフィーによる新生児脳機能計測に成功。小泉フェロー「ローマ法皇科学アカデミー400周年記念シンポジウム」で講演。ミュージアムソリューションベンチャーカンパニーを情報・通信グループに統合。ワイヤレスインフォベンチャーカンパニー新設。i.e.テレマティクス事業推進センタ新設。電力・電機グループを電力グループ及び電機グループに再編成。グループ戦略本部新設。【平成16年】 本店を東京都千代田区丸の内一丁目6番6号に移転。コンシューマ事業統括本部新設。トキコ株式会社及び株式会社日立ユニシアオートモティブを吸収合併。電池寿命1年以上、世界最小容積のセンサネット用端末の開発。高温無鉛はんだペーストの開発。

× Consulting